

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院

編集：広報委員会

〒795-8501

大洲市西大洲甲570番地

TEL0893-24-2151

FAX0893-24-0036

災害時に備えた取り組みについて

当院では2011年の東日本大震災を契機として、院内全部署の代表者23名からなる「災害医療準備チーム会」を結成し、大災害時に病院機能をどのように展開するかを目的として、毎月参集し、以下のような活動を行っています。

○各部署における災害時マニュアルや災害用備蓄品の整備の他、毎年、各部署単位でテーマを決めて災害訓練を実施しています。

○毎年2月に病院全体の災害実働訓練を実施しています。南海トラフ巨大地震を想定し、発災直後の全部署の初動対応と災害対策本部の立ち上げ、運営の訓練を行っています。

併せて、急性期傷病者の受け入れ対応として、傷病者の搬送には大洲消防救急救命士の皆様、傷病者役として帝京第五高校看護科の生徒様にもご協力いただいて患者トリアージの訓練を行っています。



○災害医療準備チーム会は南海トラフ地震を想定して、地震災害時医療の準備を行っています。しかし、近年地球温暖化に伴う豪雨災害が頻発しており、我々自身も被災した西日本豪雨災害の経験から、病院建物の浸水被害をいかに食い止めるかが大きな課題となっています。そこで病院建物浸水の危機性が高まった際、病院建物の全出入口の予防的防水処置を独自に考案し、毎年改良を加えながら実地において設置訓練を行っています。

○当院の規模として、超急性期に被災地に派遣され活動を開始するDMAT隊の編成は困難ですが、能登半島地震の際には、亜急性期において日本医師会からの要請で医師1名、看護師2名、事務員1名から構成されるJMAT隊を2回派遣し、災害後医療の活動を担いました。



今後も様々な形の災害が予想されていますが、少しでも病院機能を維持するための準備として、これからも災害医療準備チーム会を中心とする地道な活動が重要と考えています。

外科部長
兼 災害医療コーディネーター 李 俊尚

〈第50号の主な内容〉

●災害時に備えた取り組みについて … 1 P ●レスパイト入院のお知らせ … 2 P

市立大洲病院公式ホームページ <https://www.city.ozu.ehime.jp/site/ozuch/>



在宅療養中の皆様へ レスパイト入院のお知らせ

レスパイト入院とは・・・

在宅で介護にあたっているご家族の方々が、上手に息抜きをしながら介護を続けることが出来るよう、病院で入院を受け入れるサービスです。

例えば、急な出張、主介護者の入院、冠婚葬祭などの場合でもご相談いただけます。

【申し込み方法】

- 当院かかりつけの方は各科外来へご相談ください
- 介護サービスや訪問看護をご利用中の方は担当のケアマネージャーや訪問看護師にご相談ください

お問い合わせ先

【市立大洲病院総合患者支援室】

TEL: 0893-24-2151

FAX: 0893-24-0036

お気軽にご相談ください！

自分らしく生きるために



大洲市保健センターで老人クラブ大会が開催され、約200人が参加しました。「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに、佐藤院長が「自分らしく生きるために」と題して講演を行いました。自分らしく生きるための心構えや、人生の最終段階について考える「人生会議」の大切さを紹介しました。これからの人生を自分らしく過ごすために、大切な人と希望を話し合ってみませんか？

皮膚科の診察日について

令和8年8月より「木曜」の午後においても診察を行っています。

曜 日	愛大派遣医師
月曜日	休 診
火曜日	黒尾 優太 先生
水曜日	休 診
木曜日（午前）	松本 圭子 先生
木曜日（午後）	宮脇 凌 先生
金曜日	藤田 佳穂里 先生

※木曜午後の診療受付時間は、午後1時30分から4時30分までです。

※診療人数に上限があります。（火曜45名、木曜午前の部40名、午後の部20名、金曜40名まで）

※受付は、診療人数の上限に達し次第、診療受付時間より前に終了します。

※担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。